

協豊会(東海地区)・栄豊会『公的支援制度勉強会』開催

5月24日 刈谷市産業振興センターに於いて、東海地区に拠点のある協豊会・栄豊会会員会社の協力会社を対象に、『公的支援制度勉強会』を開催しました。(来場者数 265名)

今回の震災により自動車生産台数が激減し、生産体制を維持するための資金手当てが必要となることを想定して、国や愛知県の協力を得て、公的支援制度の勉強会を企画いたしました。

勉強会内容

1. 公的支援制度の枠組み説明

(1) 国の枠組み

中部経済産業局 中小企業課 課長 篠田 顕一様

(2) 愛知県の枠組み

愛知県 産業労働部 中小企業金融課 主幹 宮崎 広幸様

2. 中小企業向け金融支援制度の説明

(1) 国の制度

日本政策金融公庫 中小企業事業総括課 課長 米田 雄二様

(2) 愛知県の制度

愛知県信用保証協会 総合相談室 室長 市川 博康様

勉強会では、既存の支援制度に加え、震災対応としての新たな制度(サポート資金【震災復興】等)も紹介されました。

勉強会の様子



恒川地区代表副会長 挨拶



あわせて『本日の勉強会に関するアンケート調査』を実施いたしました。(一部を抜粋)

〈問1〉 本日の公的支援制度勉強会はどうでしたか？

① 理解できた	② 理解できなかった
85%	15%

〈問2〉 支援策についてどんなことが望めますか？(複数可)

① 金融支援	42%
② 防災対策セミナーの実施	22%
③ 電気等のライフラインの安定供給	22%
④ 相談窓口の強化	13%
⑤ その他(税・助成金・補助金)	1%

〈問3〉 本日の勉強会についてのご意見をお聞かせください。

① 制度のしくみと内容がよく理解でき参考になった
② 内容に対し時間が短すぎる
③ このような機会をまた作ってほしい
④ 予備知識がなかったので非常に難しかった
⑤ 個別相談コーナーがほしかった

〈問4〉 日頃より地震災害に備えて対策や準備をしていますか？

① している	② していない	③ これから行なう
25%	32%	43%
		75%

〈問5〉 問4で①している とお答えになった方に伺います。具体的にどのような準備を行なっていますか？

① 耐震補強工事
② 防災計画の立案と訓練の実施
③ 食糧備蓄
④ 設備機械のズレどめ、転倒防止対策
⑤ マニュアル・連絡網の整備
⑥ 防災倉庫の設置
⑦ 自家発電
⑧ 資材備蓄
⑨ 生産拠点の複数化
⑩ 復旧作業員の選定

アンケートの結果、「公的支援制度のしくみと内容がよく理解でき参考になった」というご意見が多数ありました。また、東海・東南海・南海地震に備えての対策や準備については、「していない(これから行なう)」というご意見が75%もありました。